

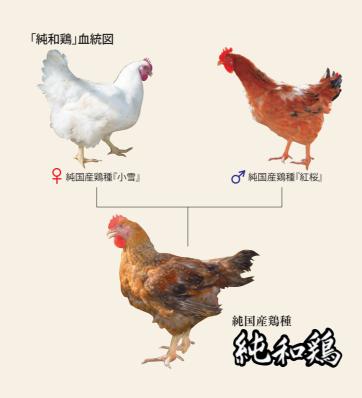
私たちニチレイフレッシュは、安全で安心な食品を持続的に生活者へお届けするため、 (株)ニチレイフレッシュファーム洋野農場において地球環境に配慮した素材づくりを追求してまいります。

高まる純国産鶏種への期待

日本の鶏肉自給率は68.7%。日本の総カロリーベースでの自給率は39.7%ですから、この数字は比較的高いといえます。しかし、その国産鶏の親鳥(種鶏)やそのまた親鳥(原種鶏)の99%は海外からの輸入です。

世界的な鳥インフルエンザの影響で、イギリスやフランスなどからの種鶏、原種鶏の輸入が散発的に停止する一方で、「国産」というキーワードは食の安全・安心の原点としてイメージされ、国産志向はますます高まっています。

ニチレイフレッシュでは、2007年5月、(株) イシイと合弁で(株) ニチレイフレッシュファームを岩手県洋野町に設立し、原種の段階からすべて日本国内で育種改良された、純国産鶏種「純和鶏(じゅんわけい)」の養鶏・販売事業を新規に立ち上げています。



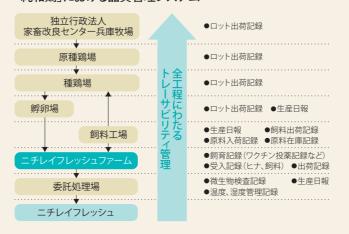
日本の鶏肉自給バランス向上と日本で育種改良された 純国産種という「こだわりの血統」を新たな生活者の価値と して追求してまいります。

商品から原種鶏まで 安全・安心のトレーサビリティ

農林水産省所管の独立行政法人家畜改良センター兵庫 牧場は、日本で唯一肉用鶏の血統を管理し、育種改良を行っており、100%国産和種の基礎鶏、小雪(♀)と紅桜(♂)の 血統から産まれた純国産鶏種を生み出しています。このこだわりの血統をニチレイフレッシュファーム洋野農場においてじっくりと時間をかけて育てた新しいブランド鶏が「純和鶏」です。ニチレイフレッシュは、純和鶏の血統の管理を 行う「純国産鶏種たつの振興協議会」の一員として貴重な和の血統の維持管理にも取り組んでいます。

純和鶏はニチレイフレッシュの自営農場で飼育され、純 和鶏の種鶏、原種鶏、さらにおおもとの基礎鶏の繁殖から ロットで管理されています。農場ではヒナの受け入れから

「純和鶏」における品質管理システム



VOICE

田邉弥

(株)ニチレイフレッシュ 畜産事業本部 畜産第一グループ



純和鶏の生産・販売は日本の食糧自給率問題や食の安全を考えニチレイフレッシュが取り組んだ新たな事業です。日本生まれ、日本育ちというこだわりの血統。日本人の嗜好にあった味を今後も追求してまいります。

ワクチンなどの薬剤管理まで純和鶏養鶏マニュアルおよび 管理基準によって厳正に管理されています。

また、純和鶏の養鶏においては地球環境に配慮し、病気 治療のためにやむをえず使用する以外は、飼料に抗生物 質合成抗菌剤を使用せず、小麦やハーブを配合したニチレ イフレッシュこだわりの飼料でじつくり時間をかけて育てて います。さらに、鶏舎内の温度・湿度などの管理は最新のコ ンピュータ養鶏管理システムで行い、農場内防疫管理の徹 底のため部外者の立ち入りを禁止するなど、さまざまな面 で品質管理を徹底しています。

環境にやさしく、持続可能な農場経営を追求

家畜排泄物の不適切な処理による地域環境の汚染が問題視されるなか、2004年に家畜排泄物処理法の施行によって家畜のふん尿等の野積みが禁止され、日本の畜産業にとって家畜のふん尿の取り扱いは大きな問題の一つです。

ニチレイフレッシュファームで発生する鶏ふんは、農場内に設置された最新鋭の高速鶏ふん処理プラントで有機肥料に生まれ変わり、大手肥料メーカーを通じて日本の農業用有機肥料として100%土壌に還元されています。

なお、このニチレイフレッシュファームで発生する純和 鶏の鶏ふんのリサイクルの取り組みは、岩手県の推進する 「岩手県産業地域ゼロエミッション推進事業」として申請し、 2008年の補助事業として認定されています。

鶏ふん処理フロー



12 社会環境報告書